

経管栄養から経口摂取へ栄養療法が移行された患者さんへ

研究機関：松戸リハビリテーション病院 栄養科

研究責任者：横井真由美

このたび松戸リハビリテーション病院栄養科では、経管栄養から経口摂取へ移行された患者さんを対象に、診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの診療情報について、本研究への利用を望まれない場合には、研究担当者にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

回復期リハビリテーション病棟における経管栄養から経口摂取への移行期は、摂取量が不安定となりやすい時期です。本研究では、経管栄養からおよび経口移行後を含めたエネルギー摂取状況を調査し、摂取量の推移が機能回復および体重変化に与える影響を明らかにすることを目的としています。本研究により、適切な栄養管理体制を確立し、リハビリテーション効果の最大化に寄与したいと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究の対象

2025年3月1日～2026年3月1日の間に松戸リハビリテーション病院リハビリテーション科において、経管栄養から経口摂取へ移行された患者さんを対象とします。

2) 研究実施期間

2025年3月1日～2026年3月1日

3) 研究方法

過去の診療記録（カルテ情報）から必要なデータを抽出し、調査を行います。

4) 使用する情報

個人を特定されないように処理した上で、性別、年齢、疾患名、栄養投与ルート（経管・併用・経口）、各期のエネルギー摂取量（kcal/kg/日）、入院時・退院時の体重および体重変化率、FIM（機能的自立度評価表）利得、MMSE（認知機能検査）点数、リハビリテーション実施状況等の情報を使用します。これらの情報は完全に匿名化された状態で情報を収集します。

5) 診療情報の保存

登録されたデータは松戸リハビリテーション病院栄養科の責任下に厳重に保存されます。保存期間は本研究終了（あるいは中止）後5年間とします。

6) 研究成果の取扱

ご参加頂いた患者さんの個人情報が出からないようにした上で、日本リハビリテーション栄養学会発表または学術論文にて公表する予定としています。

7) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が調査・研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申し出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分に説明させていただきます。

松戸リハビリテーション病院 栄養科

研究責任者：横井真由美

Tel：047-703-1555